



414  
A 159

第百八十三号

六葉

大正十一年四月  
限候爵邸寄贈



六月二十五日「ジャハンガゼット」抄譯  
 我輩今日支那外務省ヨリ日本政府ニ送レル書  
 簡ヲ譯シテ公ニス而メ日本政府ノホルモサニ  
 事務官ヲ遣ハサレシニ付キ可否ノ議論アレキ  
 此書簡ヲ以テ之ヲ載ス可シ而メ茲ニ事務官ト  
 云トル辞ヲ用ユ此辞ハ日本政府ニテ用フル所  
 ノ辞ニテ征討使ト云ヘル辞ヨリ復ニ穩カナリ  
 且ツ辞ノ穩カナル而已ナラス本營ヨリ命令ス  
 ル所ヲ見ルニ日本人ノ為ス所ヲ土人等ノ妨ケ  
 サル諸事穩カニ處置スルト見ヘタリ是レ副

3705



島氏日本ノホルモテ兎人ニ付キテ其地ニ吏務  
官ヲ遣ハス旨趣ハ軍ヲ起スナク向後ハ若シ  
其地ニ日本人至ルキハ過待ノ宜シカラナイヲ  
土人ニ談判セン為メナルイラ記セル書簡ノ意  
ト能ク合フナリ

合我輩日本ノ吏務官ヲ遣シタル旨趣ヲ至極公  
平ニ論ハ、穩カニ處置セント欲スルトモ嚴ニ  
防キラ備ヘテ吏務官ヲ遣ハサバ爾ヲ得ス既ニ  
英米ノ兩國談判スル為メ些少ノ兵ヲ卒ホテ上  
陸セル例有リ故一兵ヲ送リタルハ正理ナリ且

ツ兵ヲ以テ護衛スルノ正理ナリト云ヘルハ土  
人等日新艦ニ向テ發砲シ且都テ陸戦ハ土人ヨ  
リ挑メルナリ是レ即チ日本ノ正理タルイラ証  
スルニ足ル

トイケイジョルナルニ記載セシ日本人トホル  
モト酋長トノ會合ノ景況ヲ見ルニ合衆國ノカ  
ヒタンカセル此時ノ應對者トナリ吏務官ノ茲  
ニ來レル旨趣ヲ説キ聞カセケレハ一二族ヲ除  
キ其他ハ都テ心服セリ服セザル諸族ハ其兎暴  
ノ所業ヨリ日本人ヲシテ此島ニ渡來セシメタ

ル種族ナリ而メ日本人此島ニ上陸セシ以來カ  
ヲ以テ奪掠スルコトナク陣ヲ取リタル地ト雖モ  
地代ヲ拂ハンコトヲ約セリ之レヲ以テ日本人ノ  
此島ニ來レルハ戰ヒヲナサン為メナラスト云  
ヘシ肆ヲ重ンシ都テ正理ニ依テ事ヲ施スヲ証  
ス

我輩兇暴ノ蕃夷ヲ服セシムルハ必ス兵器ヲ取  
ラザルヲ得スト云ヘル証ヲ見タリ是レ支那人  
及ヒ混種人日本人ノ此ノ島ニ至レルヲ悦ビ日  
本ノ戰勝ヲ祝セリ殊ニ日本人奢侈ニ金銀ヲ費

ス間ハ彼等大ニ悦喜シテ遇待最モ厚シ  
譯シテ公行スル所ノ書簡ニ明ラカニ此兇夷ノ  
住スル地ハ支那ノ管轄地ナリト云ヘリ然レモ  
或人ノ説ヲ聽シニ始メハ支那ニテホルモサ南  
部ノ地ハ管轄外ナリト云ヘリト且ツ此書簡中  
ニ此兇夷ハ支那ニテ政ヲ施サスト云ヘリ然レ  
ハ則チ支那ニテハ明ラカニ義務ヲ怠リシヲ自  
ラ知ル者ナリ而メ支那ニテ兇人其海岸ニ於テ  
常ニ航海人ヲ惱ヤマスヲ其終ニ捨テ置キ日本  
ニテ之レヲ罰セントスル中ニ當リテ論ヲナス

ハ奇ナルナリ

ホルモサニ於テ今迄ノ諸変ヲ見且ツ支那外務  
省ヨリ日本政府ニ送レル書簡ヲ見テ我輩ノ論  
ハ日本ノ理アルニ決セリ兵ヲ送ルハ英米兩  
國ニ先例アリ何レニモ支那ニテ義務ヲ怠リタ  
ルニテ日本ノ所為ヲ非難スル理ナシ

日本外務卿ニ呈ス

貴國支那ト盟約セシ以來交誼日ニ厚ク昨年外  
務卿副島氏使節トナリテ支那ニ来リシキ各事